

# 第22回福岡県子育て保育のつどい

## 2012年12月9日(日)

記念講演 13:00～15:30

### 福岡市少年科学文化会館

(福岡市中央区舞鶴2-5-27)

主催：福岡県保育センター  
子育て保育のつどい実行委員会

後援：福岡県・福岡県教育委員会  
福岡市・福岡市教育委員会



参加費：1,500円(一般)、1,000円(学生)  
1,000円(保育センター個人会員)

託児：1人500円(1歳以上・申込が必要)

保育の予約は必ず行って下さい。

先着順(50名程度) ※詳細はお問い合わせ下さい

◆近くにコイン駐車場がありますが、数が十分ではありません。  
できるだけ公共交通機関(地下鉄、バス、JR)をご利用ください。

☆問い合わせ先：福岡県保育センター

福岡市中央区大名1-10-25 第二上村ビル506

TEL 092-761-5234 FAX 092-781-1995

URL: <http://www12.plala.or.jp/hoiku/index.html>

## 記念講演

### 「子どもは未来の宝」

講師： **ハロ 創**さん (弁護士)

#### 【講師プロフィール】

出身地は埼玉県。2002年に弁護士登録。

愛知県弁護士会子どもの権利委員会所属。

労働問題、刑事弁護、少年事件などを担当。

2007年4月名古屋大学法法科大学院非常勤講師

2006年1月「季刊刑事弁護」誌上で第3回最優秀新人賞受賞。

今年2月には、自身の子育て体験も交えて、「子どもと保育が消えてゆく」(かもがわブックレット)を出版。

ぼくは、弁護士会の子どもの権利委員会に属し、また、「キャプナ弁護団」という児童虐待防止に取り組む弁護団にも加わっています。また、障がい者の裁判などを通じて、社会保障システムがこの10年で劇的に変容してきたことも見てきました。しかし、保育の専門家ではありません。

いま、「保育破壊」ともいふべき制度改革が行われようとしている中で、保育園に子どもを預けるひとりの親として、また、地域に生きるひとりの市民として、また、多少なりとも子どもの現場に関わってきたひとりの弁護士として、発言しなければならないことがあるという思いから、ブックレットをまとめることにしました。 略

(おわりに) 乳幼児期は、人間の根っこの部分が育つ最も大事な時期です。この時期の保育について、「コスト」を「削る」という「マイナス」の発想でとらえることは、ぼくは間違っていると思います。 略

著書「子どもと保育が消えてゆく」から 抜粋